

1章 正の数・負の数学習プリント⑤

ポイント（正の数・負の数の加法）

★同符号の2数の和 $(+)+(+)$, $(-)+(-)$

符号…

数字…

絶対値の和といふ

★異符号の2数の和 $(-)+(+)$, $(+)+(-)$

符号…

数字…

絶対値の差といふ

例題 次の2つの数の加法において、にあてはまる符号や数を入れなさい。

$$(1) (+4)+(+2)=\boxed{}(\boxed{}+\boxed{}) \quad (2) (-3)+(-6)=\boxed{}(\boxed{}+\boxed{})$$
$$=\boxed{}\boxed{} \quad =\boxed{}\boxed{}$$

$$(3) (+5)+(-2)=\boxed{}(\boxed{}-\boxed{}) \quad (4) (-4)+(+8)=\boxed{}(\boxed{}-\boxed{})$$
$$=\boxed{}\boxed{} \quad =\boxed{}\boxed{}$$

問1 次の計算をしなさい。

$$(1) (+3)+(+3) \quad (2) (-6)+(-2) \quad (3) (+8)+(-1)$$

$$(4) (-4)+(+5) \quad (5) (-10)+(+6) \quad (6) (+2)+(-7)$$

一度答え合わせをしてから問2へ進もう！

問2 次の計算をしなさい。

$$(1) (-3)+(-4) \quad (2) (-7)+(+5) \quad (3) (+6)+(-1)$$

$$(4) (+1)+(+4) \quad (5) (-2)+(+2) \quad (6) (-8)+0$$

$$(7) (-13)+(-6) \quad (8) (-46)+(+37) \quad (9) (+45)+(-74)$$

1章 正の数・負の数学習プリント⑤解答

ポイント (正の数・負の数の加法)

★同符号の2数の和 $(+)+(+)$, $(-)+(-)$

符号… そのまま 数字… たし算 絶対値の和という

★異符号の2数の和 $(-)+(+)$, $(+)+(-)$

符号… 数字の大きい方 数字… ひき算 絶対値の差という

(解説)

$$\star (+) + (+) = (+)$$

$$\star (-) + (-) = (-)$$

覚え方「符号はそのまま、数字はたし算」

☆ $(-) + (+) = (\text{数字の大きい方の符号})$ ☆ $(+) + (-) = (\text{数字の大きい方の符号})$

覚え方「符号は大きいが勝ち、数字はひき算」

例題

(解説)

$$(1) (+4) + (+2) = \boxed{+} (\boxed{4} + \boxed{2}) \quad (2) (-3) + (-6) = \boxed{-} (\boxed{3} + \boxed{6})$$
$$= \boxed{+} \boxed{6} \qquad \qquad \qquad = \boxed{-} \boxed{9}$$

$$(3) (+5) + (-2) = \boxed{+} (\boxed{5} - \boxed{2}) \quad (4) (-4) + (+8) = \boxed{+} (\boxed{8} - \boxed{4})$$
$$= \boxed{+} \boxed{3} \qquad \qquad \qquad = \boxed{+} \boxed{4}$$

問1

(解説)

$$(1) (+3) + (+3) = +(3+3) \quad (2) (-6) + (-2) = -(6+2) \quad (3) (+8) + (-1) = +(8-1)$$
$$= +6 \qquad \qquad \qquad = -8 \qquad \qquad \qquad = +7$$

$$(4) (-4) + (+5) = +(5-4) \quad (5) (-10) + (+6) = -(10-6) \quad (6) (+2) + (-7) = -(7-2)$$
$$= +1 \qquad \qquad \qquad = -4 \qquad \qquad \qquad = -5$$

問2

(解説)

$$(1) (-3) + (-4) = -(3+4) \quad (2) (-7) + (+5) = -(7-5) \quad (3) (+6) + (-1) = +(6-1)$$
$$= -7 \qquad \qquad \qquad = -2 \qquad \qquad \qquad = +5$$

$$(4) (+1) + (+4) = +(1+4) \quad (5) (-2) + (+2) = 0 \quad (6) (-8) + 0 = -8$$
$$= +5 \qquad \qquad \qquad = -9 \qquad \qquad \qquad = -8$$

$$(7) (-13) + (-6) = -(13+6) \quad (8) (-46) + (+37) = -(46-37)$$
$$= -19 \qquad \qquad \qquad = -9$$

$$(9) (+45) + (-74) = -(74-45)$$
$$= -29$$

1章 正の数・負の数学習プリント⑥ 「少數、分数の和」

小学校の復習（少數と分数の計算）

(1) $0.3 + 0.8$

(2) $2.4 - 1.5$

(3) $\frac{2}{7} + \frac{4}{7}$

ヒント：分母が異なるときはどうするのかな？

(4) $\frac{4}{5} - \frac{2}{5}$

(5) $\frac{1}{4} - \frac{1}{8}$

(6) $\frac{1}{2} + \frac{2}{5}$

問1 次の計算をしなさい。

(1) $(+0.9) + (+2.3)$

(2) $(-1.4) + (+0.6)$

=□(□ + □)

=□(□ - □)

=□□

=□□

(3) $\left(+\frac{3}{5}\right) + \left(-\frac{1}{5}\right)$

(4) $\left(-\frac{3}{4}\right) + \left(-\frac{2}{3}\right) = \left(\right) + \left(\right)$

=□(□ - □)

=□(□ + □)

=□□

=□□

問2 次の計算をしなさい。

(1) $(-5.1) + (-7.5)$

(2) $(-0.6) + (+0.9)$

(3) $(+5.27) + (-8.16)$

(4) $\left(-\frac{6}{5}\right) + \left(-\frac{3}{10}\right)$

(5) $\left(+\frac{7}{8}\right) + \left(-\frac{13}{12}\right)$

(6) $\left(-\frac{3}{7}\right) + \left(+\frac{19}{6}\right)$

ポイント（加法の計算法則）

(1) 加法では、 $\square + \bigcirc = \bigcirc + \square$ のように、計算の順序を入れかえることができる。これを加法の□法則という。

(2) 加法では、 $(\square + \bigcirc) + \triangle = \square + (\bigcirc + \triangle)$ のように、計算の組み合わせをかえることができる。これを加法の□法則という。

1章 正の数・負の数学習プリント⑥ 「少數、分数の和」 解答

小学校の復習（少數と分数の計算）

（解説）

$$(1) \quad 0.3 + 0.8 = 1.1 \quad (2) \quad 2.4 - 1.5 = 0.9$$

$$(3) \quad \frac{2}{7} + \frac{4}{7} = \frac{6}{7}$$

$$(4) \quad \frac{4}{5} - \frac{2}{5} = \frac{2}{5}$$

$$(5) \quad \frac{1}{4} - \frac{1}{8} = \frac{2}{8} - \frac{1}{8} = \frac{1}{8}$$

$$(6) \quad \frac{1}{2} + \frac{2}{5} = \frac{5}{10} + \frac{4}{10} = \frac{9}{10}$$

問1

$$(1) \quad (+0.9) + (+2.3)$$

$$= \boxed{+} \left(\boxed{0.9} + \boxed{2.3} \right)$$

$$= \boxed{+} \boxed{3.2}$$

$$(2) \quad (-1.4) + (+0.6)$$

$$= \boxed{-} \left(\boxed{1.4} - \boxed{0.6} \right)$$

$$= \boxed{-} \boxed{0.8}$$

$$(3) \quad \left(+\frac{3}{5} \right) + \left(-\frac{1}{5} \right)$$

$$= \boxed{+} \left(\boxed{\frac{3}{5}} - \boxed{\frac{1}{5}} \right)$$

$$= \boxed{+} \boxed{\frac{2}{5}}$$

$$(4) \quad \left(-\frac{3}{4} \right) + \left(-\frac{2}{3} \right) = \left(-\frac{9}{12} \right) + \left(-\frac{8}{12} \right)$$

$$= \boxed{-} \left(\boxed{\frac{9}{12}} + \boxed{\frac{8}{12}} \right)$$

$$= \boxed{-} \boxed{\frac{17}{12}}$$

（解説）

先に「通分」をしておかないと、絶対値の大小を比べられないね。

問2

（解説）

$$(1) \quad (-5.1) + (-7.5) = -(5.1 + 7.5)$$

$$= -12.6$$

$$(2) \quad (-0.6) + (+0.9) = +(0.9 - 0.6)$$

$$= +0.3$$

$$(3) \quad (+5.27) + (-8.16) = -(8.16 - 5.27)$$

$$(4) \quad \left(-\frac{6}{5} \right) + \left(-\frac{3}{10} \right) = -\left(\frac{6}{5} + \frac{3}{10} \right)$$

$$= -2.89$$

$$= -\left(\frac{12}{10} + \frac{3}{10} \right)$$

$$= -\frac{15}{10} = -\frac{3}{2}$$

$$(5) \quad \left(+\frac{7}{8} \right) + \left(-\frac{13}{12} \right) = -\left(\frac{13}{12} - \frac{7}{8} \right)$$

$$= -\left(\frac{26}{24} - \frac{21}{24} \right)$$

$$= -\frac{5}{24}$$

$$(6) \quad \left(-\frac{3}{7} \right) + \left(+\frac{19}{6} \right) = +\left(\frac{19}{6} - \frac{3}{7} \right)$$

$$= +\left(\frac{133}{42} - \frac{18}{42} \right)$$

$$= +\frac{115}{42}$$

裏面へ続く…

ポイント（加法の計算法則）

- (1) 加法では、 $\square + \bigcirc = \bigcirc + \square$ のように、計算の順序を入れかえることができる。これを加法の **交換** 法則という。
- (2) 加法では、 $(\square + \bigcirc) + \triangle = \square + (\bigcirc + \triangle)$ のように、計算の組み合わせをかえることができる。これを加法の **結合** 法則という。

(解説)

この計算法則は、小学校のときにも出てきた。

例) $2 + 3 = 3 + 2$ (加法の交換法則) , $(2 + 3) + 4 = 2 + (3 + 4)$ (加法の結合法則)

「加法の」と付けなければいけない。それはなぜか？考えてみよう。

1章 正の数・負の数学習プリント⑦ 「減法」

ポイント

ひき算のことを といい、その結果を という。

復習（ひねくれ言葉）

(1) 「 -6 より $+10$ 小さい」は「 -6 より 大きい」と同じ。

(2) 「 -8 より -3 小さい」は「 -8 より 大きい」と同じ。

これらを式で表すと…

$$(1) (-6) - (+10) = (-6) + (\boxed{\quad})$$

お！「減法」が

「加法」になった！

$$(2) (-8) - (-3) = (-8) + (\boxed{\quad})$$

例題

$$(1) (-6) - (+10) = (-6) + \boxed{(-10)}$$

加法になおす
=

符号を変える

$$(2) (-8) - (-3) = (-8) \boxed{(+3)}$$

=

減法は、符号を変えて
加法にすればOK！

問 次の計算をしなさい。

(1) $(+5) - (+8)$ (2) $(+6) - (+2)$ (3) $(-12) - (+4)$

(4) $(+3) - (-7)$ (5) $(-5) - (-11)$ (6) $(-8) - (-8)$

(7) $(-3) - 0$ (8) $0 - (+6)$ (9) $(+16) - (+31)$

(10) $(-27) - (-18)$

1章 正の数・負の数学習プリント⑦ 「減法」 解答

ポイント

ひき算のことを **減法** といい、その結果を **差** という。

(解説)

「差」という言葉は日常でも使うね。

復習（ひねくれ言葉）

(1) 「 -6 より $+10$ 小さい」は「 -6 より -10 大きい」と同じ。

(2) 「 -8 より -3 小さい」は「 -8 より $+3$ 大きい」と同じ。

これらを式で表すと…

$$(1) (-6) - (+10) = (-6) + (-10)$$

$$(2) (-8) - (-3) = (-8) + (+3)$$

お！「減法」が
「加法」になった！

(解説)

ここで「ひねくれ言葉」が生きてくるとは！

例題

$$(1) (-6) - (+10) = (-6) + (-10)$$

$$\begin{array}{c} \text{加法になおす} = -16 \\ \text{符号を変える} \end{array}$$

$$(2) (-8) - (-3) = (-8) + (+3)$$

$$= -5$$

減法は、符号を変えて
加法にすればOK！

(解説)

「加法」ができれば「減法」もできるということだね。

問

(解説)

$$(1) (+5) - (+8) = (+5) + (-8) = -3$$

$$(2) (+6) - (+2) = (+6) + (-2) = +4$$

$$(3) (-12) - (+4) = (-12) + (-4) = -16$$

$$(4) (+3) - (-7) = (+3) + (+7) = +10$$

$$(5) (-5) - (-11) = (-5) + (+11) = +6$$

$$(6) (-8) - (-8) = (-8) + (+8) = 0$$

$$(7) (-3) - 0 = -3$$

$$(8) 0 - (+6) = 0 + (-6) = -6$$

$$(9) (+16) - (+31) = (+16) + (-31) = -15$$

$$(10) (-27) - (-18) = (-27) + (+18) = -9$$